

童話から学ぶ刑事裁判手続 ～有罪？無罪？君はどう考える？～ を開催しました。



令和4年8月12日（金）、静岡地方裁判所では、「童話から学ぶ刑事裁判手続～有罪？無罪？君はどう考える？～」を開催し、小学校4～6年生20人とその保護者のみなさんに御参加いただきました。当日の様子を御紹介します！

① 模擬裁判

《作戦タイム》

模擬裁判の題材は、童話「白雪姫」です。参加してもらった小学生のみなさんには、まず、本職の裁判官・検察官・弁護士と一緒に、それぞれの役割の確認や裁判を進めるための作戦などを練ってもらいました。



（事案概要）

ある日、森で暮らしていた白雪姫が、何者かに毒リンゴを食べさせられ、殺されそうになった。捜査線上に浮かんだ容疑者はお城の王妃…果たして白雪姫を殺そうとしたのはお城の王妃なのだろうか…静岡地方裁判所で白雪姫裁判の幕が上がる…。

《模擬裁判スタート》



まず、検察官が起訴状を朗読し、裁判官が被告人である王妃に意見を聞きました。

被告人「いいえ。わたくしは白雪姫を殺そうなどとしておりません。白雪姫が毒リンゴを食べたとき、わたくしはお城にいました。」

王妃は犯行を全面否認！！

検察官は王妃が犯人であるという立場から有罪を、弁護人は王妃が犯人ではないという立場から無罪を、それぞれ主張をします。裁判官は公正な立場から両者の意見を聞き、判決を出さなければなりません。

《各チームの様子》

検察官チーム



被告人の有罪を証明するため、証人から様々な証言を引き出していく！的確な質問に検察官も脱帽！

弁護人チーム



弁護士顔負けのするどい質問！
質問に対して証人もたじたじ。証言に疑問が残ればさらに追及する！

裁判官チーム



証人の話に矛盾はないかな？重要な証言を聞き逃さないようにしよう！



なぜ、王妃が犯人だと思ったのか、白雪姫にも話を聞いてみよう！



確認したい点や聞いておきたいことがあれば、裁判官も質問するぞ！

《評議》



白熱する評議！検察側や弁護側にきちんと説明ができるよう、熱い議論が続きました！



その間、検察官チームと弁護人チームは裁判をやってみた感想を話し合い、裁判の振り返りを行いました。勝利を確信する両チーム！果たして、判決は…



《判決宣告》



裁判官の評議の結果、被告人に言い渡された判決は…

「被告人は無罪！」

判決宣告後、裁判官役のみなさんから自分の考えを発表してもらいました。結論を出す難しさや無罪とした決め手など、活発な意見がたくさん出ました。

② 裁判官・検察官・弁護士への質問コーナー



模擬裁判終了後は、裁判官・検察官・弁護士への質問コーナーの時間です。

なんで裁判官になったのか、どうやったら検察官や弁護士になれるのかなど、たくさんの小学生が質問をぶつけていました。

仕事のやりがいについて、風間検事は、被害者から感謝の言葉をかけてもらうとき検察官をやっているよかったと思った、石川弁護士は依頼者と向き合うことによって自分が必要とされていると思う、といったお話をされていました。



③ 法律に関わる仕事の説明

質問コーナーの後は、法律に関わる仕事の説明がありました。

裁判官より、法曹三者（裁判官・検察官・弁護士）の魅力や法曹三者になるための具体的な方法、勉強のためのアドバイスなどがありました。

また、総務課広報係からは裁判所で働く人々の紹介として、裁判所書記官や裁判所事務官、家庭裁判所調査官など、裁判所における様々な職種の説明がされました。

